

令和 8 年 9 月 16 日
農地部農地建設課

“新潟県ため池サポートセンター”が、農業用ため池の水難事故防止等 に向けた実演イベントを開催します

農業用ため池は、水源が乏しい山間地域等において農業用水を確保するために造られた施設で、本県には約 4,000 か所が存在しています。その豊かな水辺環境と景観は、親水空間として憩いの場を提供する一方で、日常管理を怠ると豪雨や地震時に決壊するリスクや、不用意に近づいて転落し命を落とす事故が起きてしまうなど、隠れた危険が潜んでいます。

このような危険性について、ため池管理者及び近隣小学校の児童を含む住民に広く周知し、ため池での災害や事故の未然防止を図るため、下記のとおり実演イベントを開催します。

記

1 日 時

令和 8 年 10 月 1 日（木） 午前 10 時から（概ね 1 時間半程度）

※当日受付による一般参加も可能です。

受付はバス乗車場所の泉水地区センターにて午前 9 時から 9 時 20 分まで行います。

受付後、会場までのバスへご乗車ください。バスは 9 時 30 分発車予定です。

2 会 場

牛ヶ島大堤（長岡市川口牛ヶ島）

3 主な内容

（1-1）「ため池の役割と特徴」（担当：新潟県農地部農地建設課）

内容：ため池が持つ役割の紹介や、万が一決壊してしまった場合に想定される浸水区域図の見方、決壊を防ぐために行政が行っている防災対策等について解説します。

（1-2）「日常管理の技術指導」（担当：新潟県土地改良事業団体連合会）

内容：ため池管理者が定期的に行う日常管理において、防災上の観点から特にポイントとなる部分について技術指導を行います。

（2）「ため池転落の危険性」（担当：株式会社水難総合研究所）

内容：（一社）水難学会の斎藤理事（長岡技術科学大学教授）の解説と、ため池に転落したスタントマンの実演を通して、ため池転落事故の危険性を実感していただき、命が助かるためにどのような対策が必要なのかを学びます。

※（1-1）及び（1-2）は対象者を分け、同時に実施します。

4 その他

- ・近隣の小学校の児童を含む住民が参加予定です。
- ・取材を希望する方は、9 月 28 日（月）までに下記担当へ事前連絡し、当日は自社腕章、身分証明書等を携行ください。

〈本件についての問い合わせ先〉

農地建設課 課長補佐 吉田

（直通）025-280-5829 （内線）3112

E-mail：ngt070020@pref.niigata.lg.jp

(参考資料)

新潟県ため池サポートセンターについて

近年、全国各地で自然災害により農業用のため池が被災する事例が発生していることから、農業用のため池を適正に管理・保全し、災害の発生防止を図るための技術支援などを目的に、県、市町村及び新潟県土地改良事業団体連合会で「新潟県ため池サポートセンター」を設立した。

○設立日 令和4年3月29日

○主要事業 ・ため池に関する施策や課題などの共有
 ・ため池の管理に関する相談の受付け
 ・ため池の管理に関する研修会や講習会の開催
 ・防災重点農業用ため池の現地状況の確認
 ・ため池管理者や一般県民に向けた情報発信

【駐車場・受付・バス乗車場所】



- ・ 駐車場内では誘導員に従い、駐車及び退出をお願いします。
- ・ バス乗車場所には駐車しないようお願いします。

【研修会場】



- ・ バス降車場所から青線のルートに従い、研修場所まで歩いてお越しください。